



2019年7月31日

各位

会社名 日本精蠟株式会社
 代表者名 代表取締役社長
 社長執行役員 安藤 司
 (コード番号 5010 東証第2部)
 問合せ先 取締役
 常務執行役員総務部長 常慶 直宏
 (TEL 03-3538-3061)

2019年12月期第2四半期累計期間の業績予想との差異に関するお知らせ

2019年2月14日に公表いたしました2019年12月期第2四半期累計期間(2019年1月1日～2019年6月30日)の業績予想と本日公表の実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2019年12月期第2四半期累計期間業績予想との差異
(2019年1月1日～2019年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 13,500	百万円 100	百万円 50	百万円 30	円 銭 1.52
実績値 (B)	13,871	△395	△430	△263	△13.33
増減額 (B-A)	371	△495	△480	△293	—
増減率 (%)	2.7	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年12月期第2四半期)	14,113	274	245	165	9.28

2. 差異の理由

当社損益に大きく影響する原油相場は、年初の50ドル/バレル台前半から徐々に上昇し、4月には70ドル/バレル台に至りましたが、6月には60ドル/バレル台に下落しました。

このような状況下、2019年12月期第1四半期において、期首高値在庫や原油価格の上昇により営業・経常損失となりましたが、第2四半期においては、原油価格の更なる高騰、定期修繕による生産減でのコストアップ及び物流経費の上昇、一方販売面では、海外ワックス市場において、米中貿易摩擦、中国国内需要の低迷による中国産ワックスの輸出増が相まって、市場価格の大幅下落の影響により、2019年2月14日公表の業績予想との差異が生じました。

なお、通期業績予想につきましては、原油価格及び重油の動静、海外ワックス市場の需給想定など、第3、第4四半期の見通しを精査中のため、現時点では変更はありません。しかしながら厳しい環境下、見直しが必要と判断した場合は速やかに公表いたします。

以上